



3人が市役所の会議室で、まちの将来像について話し合いました



New Year Talk

まちの未来

【越田市長がまちの活性化に携わる2人に話を聞く】

イベントの中止やビジネスのオンライン化など
新型コロナウイルス感染症の影響により変化した市民生活

各地域や駅前で、少しずつ催しなどが再開され始めた今
まちの将来像を考えるに当たり、市商工会の大智会長と
市中心市街地活性化協議会の九鬼タウンマネージャーを迎えて^{いでん}鼎談を行いました

市中心市街地活性化協議会
タウンマネージャー
九鬼 麻衣さん

官公庁職員、カフェ店員などを経て起業。合同会社アンドイー代表。令和元年から市中心市街地活性化協議会タウンマネージャーを務める。マルシェや音楽催事をさまざまな主体と協力しながら開催。

市商工会 会長
大智 靖志さん

(株)大智鍛造所代表取締役。平成5～17年に市教育委員会教育委員を務める。25年5月から市商工会長に就任。現在は、県商工会連合会副会長、市中心市街地活性化協議会会長も務める。

市長
越田 謙治郎

平成14年市議会議員選挙に初当選し、市議会議員を2期務める。23年から県議会議員を2期経て、30年10月、市長に就任。令和元年度マニフェスト大賞にて優秀マニフェスト推進賞(首長部門) 審査員特別賞を受賞。

コロナ禍で生じた変化

越田市長(以下越田) この2年間、新型コロナウイルス感染症の影響で、市内の事業者の皆さんにとって、苦しい状態が続いています。お二人にはどんな声が届きましたか。

大智さん(以下大智) ニュースなどで報道されている通り、飲食業やサービス業、観光業などは大きな影響を受けて、売り上げが減少しました。度重なる感染拡大への対応に苦慮したと聞いています。

海外から製品や部品などが入らず、業務に支障が出た業種も多くありました。
九鬼さん(以下九鬼) お子さんが登校できない時期は、仕事を一定期間控える必要があったと小規模の事業者さんはおっしゃっていました。

大智 自動車部品を作っている私の会社では、令和2年の7月から徐々に回復傾向にはなりましたが、影響は最近まで続きました。自動車部品業界では、2年の5・6月は週3・4日だけの稼働にしてい

対面×非対面＝新たな価値

まれなくなってしまう。コロナはまちのにぎわいにとって大きな痛手でした。

越田 市は感染拡大期にコロナ対策を重点的に行うため、2年に予定していた各事業を実施するか、中止するかを検討しました。急を要するものと比べて文化・芸術、エンターテイメントは断念せざるを得ない状況でした。

大智 文化・芸術は人生を豊かにしてくれるもの。できなくなったことで改めてそう感

た事業所や、助成金でしただけ会社も多くありました。
越田 コロナ禍の前には、藤ノ木さんかく広場などで開催されるイベントが増えてきていました。にぎわいづくりを活性化するために行った道路占用の規制緩和や、第2次総合戦略と産業ビジョンの策定を経て、「さあこれから」という時にコロナ禍になってしまいました。

九鬼 音楽・文化関係のイベントが開催できず、人々が集

じられました。

越田 また、人との接触を減らすために、オンラインの活用が増えてきました。市立学校ではこの2学期に初めて、対面とオンラインの授業を併用するというチャレンジができました。審議会は遠方からの参加が容易になるなど良い変化もありました。

大智 民間でも会議や研修はオンラインになり、出張はほぼなくなりました。今後は商談も出張・対面とオンライン

の場合に分かれてくるでしょうね。
九鬼 まちのイベントも2

年の「かわにし音灯り」のように、オンラインを利用したものが増え、店舗のキャッシュレス化も進みました。

大智 オンライン化の良さを感ずる一方で、以前は当たり前だった対面でのふれあいに価値が見出されてきましたね。

九鬼 実際に会わないと伝わらない、感じられないもの大切さを実感しています。

越田 オンラインと対面の良いところをうまく生かしていくことが、今後の課題ですね。

新しい人やものを 受け入れる風土がある

強みを生かして
ともに成長していく

川西の玄関口にぎわいを

越田 イベントの形が、少しずつ変わってきたように思います。
大智 以前はお祭りのような大きなイベントが中心に行われていました。今はさまざまな場所で小さな催しがたくさん行われている印象ですね。
越田 イベントを開催する際、主催者とお客さんが完全に分かれていましたよね。今は、出店者や参加者も運営をサポートする。長く続けていける基盤ができてきたんじゃないでしょうか。
九鬼 自分たちが楽しいと思



大智 靖志さん
Yasushi Ohchi

います。少しずつ市内に起業家が増えていくように感じます。
大智 川西には新しい人やものを受け入れる風土があることも理由の一つ。また、ともに成長していきたいという思いを持った事業者が多いのも、川西の強みだと思います。
九鬼 中心市街地活性化協議

会は、昨年11月までキッチンカーのシェアを行い、新たに起業する人をサポートしていただきました。川西はチャレンジする人を応援してくれる空気があり、新しい出店があると応援に行く人が多くいるんです。そういう人たちの存在は、起業時にとても励みになるんですよ。

うものを創り上げていった結果、小さなぎわいがまちの中に生まれてきました。人とのつながりを重視しようと活動する人が増えてきたのを感じています。
越田 市が管理している場所を活用して、まちの活性化につなげるために規制緩和を実現しました。川西能勢口駅前の歩行者デッキでのイベントを通じ、にぎわいが戻りつつあることを感じています。
九鬼 川西能勢口駅前は、川西の玄関口。また、さまざまな交通の中心としての役割も果たしています。市内外からのアクセスも良くて魅力的な場所なので、イベントをするにはぴったりですよ。
大智 デッキは通行人が多く、イベントをしていると立ち止まってもらいやすいので、イベントができるようになったのは非常に良かったですね。
越田 ライブやフリーマーケットなども行えるように、ルールづくりも工夫しました。常に駅前では楽しい事をやっている、というイメージを皆さんに持ってもらいたかったです。

「川西が動き出す」 そう実感できる年に 中学校給食と新病院、舎羅林山開発 まちづくりの大きな転換点となる

九鬼 デッキは商業施設ともつながっています。デッキに人が集まると商業施設にも流れて行きます。規制緩和が、主催者や参加者だけでなく、周りの事業者にも良い影響となればと考えました。そのた

めには、今以上に商業施設と連携していきたいですね。
変化を受け入れるまち
越田 市は女性起業塾を開催したり、商工会と連携して起業したい人を支援したりして

越田 新しい人を受け入れる姿勢は大事にしていきたいですね。そうでないと、まちは盛り上がりませんから。
九鬼 同業者でも、お客さんを取り合うのではなく、協力し合ってお客さんを大事にしたいと考えられる事業者さんがたくさんいますよ。
大智 商工会で取り上げた里山グルメやスイーツの企画でも同業者が集まってもらいました。そこでも、一緒に業界を盛り上げていこうという雰囲気がありました。
越田 暮らしやまちの変化を受け入れ、良いものを引き継いでいく。そんな流れをつくっていかたいですね。

挑戦の一年

越田 最後になりますがお二人は令和4年をどういう年にしたいですか。
大智 商工会は、地域の事業者の身近なサポーターとして役割を果たしていきたいです。非会員の事業者さんとも、気軽に相談していただければと思います。
九鬼 藤ノ木さんかく広場や、駅前の歩行者デッキを活用し、イベントなど、まちの

まちを盛り上げる 仕掛けをつくりたい

主催者と参加者が一緒に楽しむ
小さな輪を広げていく



九鬼 麻衣さん
Mai Kuki



越田 謙治郎
Kenjiro Koshida